

記入例(個人推薦用)

様式第1号 (第4条関係)

[個人推薦]

委員候補者推薦書

令和8年 〇月 〇日

木曾岬町長 様

推薦者 住所 木曾岬町大字源緑輪中〇〇

氏名 三重 一郎

委員候補者として下記の者を推薦します。

記

【推薦者に関する事項】

住所	木曾岬町大字源緑輪中〇〇		
氏名	三重 一郎	性別	男
生年月日等	昭和〇〇年 〇月 〇日 [満 △歳]		
職業	農業		
連絡先	固定電話	(0567) 〇〇 - 〇〇〇〇	
	携帯電話	(〇〇〇) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
推薦する理由	被推薦者は、地域特産の野菜栽培を長年にわたり精力的に展開され、地域の担い手農家からの人望も厚く、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止、解消等、農地の利用に関する最適化、農業委員会業務に大きく貢献されると考えるため推薦する。		
委員候補者としての推薦の有無	被推薦者を本町又は他市町村の委員候補者として 1 推薦している (市町村名:) ② 推薦していない		

【被推薦者に関する事項】

住所	木曾岬町大字面対海地〇〇		
氏名	木曾岬 太郎	性別	男
生年月日等	昭和〇〇年 〇月 〇日 [満 △歳]		
職業	農業		
連絡先	固定電話	(0567) 〇〇 - 〇〇〇〇	
	携帯電話	(〇〇〇) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
経歴 (職歴)	(公職歴があれば合わせて記入してください。) 平成〇年〇月～平成〇年〇月 〇〇〇〇組合 理事 平成〇年〇月～令和〇年〇月 木曾岬町土地改良区理事 令和〇年〇月～令和〇年〇月 △△△△委員会 会長		

<p>農業経営の状況</p>	<p>(所有する農地面積、耕作面積、耕作品目、収穫量、農業従事日数、農業従事者数、農業所得等を記入してください。)</p> <p>農地面積 100 a 耕作面積 60 a (水稻 2,880kg)、40 a (トマト 40t) 農業従事日数 300日 (本人)、150日 (妻) 農業従事者数 2人 (本人、妻) 農業所得 6,000,000 円</p>
<p>認定農業者等の該当状況</p>	<p>(該当するものに「○」を付してください。)</p> <p>① 認定農業者 (個人) 又は認定農業者 (法人) の役員等である者</p> <p>2 認定農業者に準ずる者</p> <p>ア 認定農業者 (個人) 又は認定農業者 (法人) の役員等であった者</p> <p>イ 認定農業者が行う耕作又は蓄養の事業に従事し、その経営に参画する親族</p> <p>ウ 認定就農者 (法人の場合は役員等)</p> <p>エ 集落営農組織の役員</p> <p>オ 農業の振興に関する国又は地方公共団体の計画に位置付けられた農業者であって、当該農業委員会の区域の農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる者 (法人の場合は役員等)</p> <p>カ 農業の経営又は技術について優れた知識及び経験を有し、地域において指導的な立場にある者として地方公共団体に認められた農業者</p> <p>キ 農業経営基盤強化促進法 (昭和55年法律第65号) に基づき市町村が作成する基本構想における効率的かつ安定的な農業経営の指標の水準に達している者 (法人の場合は役員等)</p> <p>3 認定農業者又は認定農業者に準ずる者でない者</p> <p>※ 役員等とは、認定農業者 (法人) の役員及びその法人が行う耕作又は蓄養の事業に関する権限及び責任を有する使用人です。</p>
<p>推薦を承諾した理由又は動機</p>	<p>私は長年にわたり農業を営んできたが、農業者が年々減少するなど地域農業は多くの課題を抱えていることから、農業委員会の事業に積極的に関わっていくことで、地域農業を活性化させていきたいと思い推薦を承諾した。</p>
<p>同意事項</p>	<p>私は 委員候補者として推薦を受けることに同意します。</p> <p>令和8年 ○月 ○日</p> <p style="text-align: right;">氏名 木曾岬 太郎</p>

備考

- 1 枠内に記入しきれない場合は、「別紙のとおり」と表記し、参考例を基に別紙を作成して添付してください。なお、別紙には必ず推薦書のタイトル、推薦者及び被推薦者の氏名を記入してください。
- 2 提出された推薦書は返却しません。
- 3 推薦書に記入された事項は、農業委員会等に関する法律施行規則 (昭和26年農林省令第23号) 第6条の規定により住所を除いて全て公表となります。

記入例(法人又は団体推薦用)

様式第2号(第4条関係)

[法人又は団体推薦]

委員候補者推薦書

令和8年 〇月 〇日

木曾岬町長 様

推薦者 所在地 木曾岬町大字富田子〇〇
法人又は団体名 〇〇〇〇組合
代表者又は管理人氏名 組合長 役場 次郎

委員候補者として下記の者を推薦します。
記

【推薦者に関する事項】

所在地	木曾岬町大字富田子〇〇		
代表者又は管理人氏名	〇〇〇〇組合 組合長 役場 次郎	構成員の数	100人
連絡先	固定電話	(0567) 〇〇 - 〇〇〇〇	
	携帯電話	(〇〇〇) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
法人又は団体の組織の目的	(定款、規約を基に記入し、推薦書を提出する際にその定款、規約等を添付してください。) 農業生産の協業を図ることにより、組合員共同の利益を増進する。		
構成員たる資格その他法人又は団体の性格を明らかにする事項	(定款、規約を基に記入し、推薦書を提出する際にその定款、規約等を添付してください。) 農業協同組合法に基づく法人		
推薦する理由	被推薦者は、農業委員として1期務め木曾岬町の農地の現状を把握しており、これまでの活動を通じて、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止、解消等、農地の利用に関する最適化、農業委員会業務に大きく貢献されるところを鑑み、推薦する。		
委員候補者としての推薦の有無	被推薦者を本町又は他市町村の委員候補者として ① 推薦している(市町村名:) ② 推薦していない		

【被推薦者に関する事項】

住所	木曾岬町大字西対海地〇〇		
氏名	木曾岬 花子	性別	女
生年月日等	昭和〇〇年 〇月 〇日 [満 △歳]		
職業	農業		
連絡先	固定電話	(0567) 〇〇 - 〇〇〇〇	
	携帯電話	(〇〇〇) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	

経歴（職歴）	(公職歴があれば合わせて記入してください。) 平成〇年〇月～令和〇年〇月 木曾岬町農業委員会委員 平成〇年〇月～令和〇年〇月 木曾岬町土地改良区理事
農業経営の状況	(所有する農地面積、耕作面積、耕作品目、収穫量、農業従事日数、農業従事者数、農業所得等を記入してください。) 農地面積 100a 耕作面積 60a (水稲 2,880kg)、40a (トマト 40t) 農業従事日数 300日 (本人)、150日 (妻) 農業従事者数 2人 (本人、妻) 農業所得 6,000,000円
認定農業者等の該当状況	(該当するものに「○」を付してください。) ① 認定農業者（個人）又は認定農業者（法人）の役員等である者 2 認定農業者に準ずる者 ア 認定農業者（個人）又は認定農業者（法人）の役員等であった者 イ 認定農業者が行う耕作又は蓄養の事業に従事し、その経営に参画する親族 ウ 認定就農者（法人の場合は役員等） エ 集落営農組織の役員 オ 農業の振興に関する国又は地方公共団体の計画に位置付けられた農業者であって、当該農業委員会の区域の農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる者（法人の場合は役員等） カ 農業の経営又は技術について優れた知識及び経験を有し、地域において指導的な立場にある者として地方公共団体に認められた農業者 キ 農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）に基づき市町村が作成する基本構想における効率的かつ安定的な農業経営の指標の水準に達している者（法人の場合は役員等） 3 認定農業者又は認定農業者に準ずる者でない者 ※ 役員等とは、認定農業者（法人）の役員及びその法人が行う耕作又は蓄養の事業に関する権限及び責任を有する使用人です。
推薦を承諾した理由又は動機	これまで、農業委員として1期務め木曾岬町の農地の現状を把握できた。今後も微力ではあるが、木曾岬町の農業に携わってこれまでの経験を活かしたいと思い推薦を承諾した。
同意事項	私は XXXXXXXXXX 委員候補者として推薦を受けることに同意します。 令和8年 〇月 〇日 氏名 木曾岬 花子

備考

- 1 枠内に記入しきれない場合は、「別紙のとおり」と表記し、参考例を基に別紙を作成して添付してください。なお、別紙には必ず推薦書のタイトル、推薦者及び被推薦者の氏名を記入してください。
- 2 提出された推薦書は返却しません。
- 3 推薦書に記入された事項は、農業委員会等に関する法律施行規則（昭和26年農林省令第23号）第6条の規定により住所を除いて全て公表となります。

記入例

様式第3号（第5条関係）

委員候補者応募申込書

令和8年 〇月 〇日

木曾岬町長 様

応募者 住所 **木曾岬町大字西対海地〇〇**
氏名 **木曾岬 太郎**

委員候補者として下記のとおり応募します。

記

住所	木曾岬町大字西対海地〇〇		
氏名	木曾岬 太郎	性別	男
生年月日等	昭和〇〇年 〇月 〇日 [満 △歳]		
職業	農業		
連絡先	固定電話	(0567) 〇〇 - 〇〇〇〇	
	携帯電話	(〇〇〇) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
委員候補者としての応募の有無	本町又は他市町村の 委員候補者として 1 応募している（市町村名：） ② 応募していない		
応募の理由又は動機	例① これまで、農業委員として1期務め木曾岬町の農地の現状を把握できた。今後も微力ではあるが、木曾岬町の農業に携わってこれまでの経験を活かしたいと思い応募した。 例② 私は長年にわたり農業を営んできたが、農業者が年々減少するなど地域農業は多くの課題を抱えていることから、農業委員会の事業に積極的に関わっていくことで、地域農業を活性化させていきたいと思い応募した。		
経歴（職歴）	（公職歴があれば合わせて記入してください。） 平成〇年〇月～令和〇年〇月 木曾岬町農業委員会委員 平成〇年〇月～令和〇年〇月 木曾岬町土地改良区理事		
農業経営の状況	（所有する農地面積、耕作面積、耕作品目、収穫量、農業従事日数、農業従事者数、農業所得等を記入して下さい。） 農地面積 100 a 耕作面積 60 a (水稻 2,880kg)、40 a (トマト 40+) 農業従事日数 300日 (本人)、150日 (妻) 農業従事者数 2人 (本人、妻) 農業所得 6,000,000円		

<p>認定農業者等の該当状況</p>	<p>(該当するものに「○」を付してください。)</p> <p>① 認定農業者（個人）又は認定農業者（法人）の役員等である者</p> <p>2 認定農業者に準ずる者</p> <p>ア 認定農業者（個人）又は認定農業者（法人）の役員等であった者</p> <p>イ 認定農業者が行う耕作又は蓄養の事業に従事し、その経営に参画する親族</p> <p>ウ 認定就農者（法人の場合は役員等）</p> <p>エ 集落営農組織の役員</p> <p>オ 農業の振興に関する国又は地方公共団体の計画に位置付けられた農業者であって、当該農業委員会の区域の農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる者（法人の場合は役員等）</p> <p>カ 農業の経営又は技術について優れた知識及び経験を有し、地域において指導的な立場にある者として地方公共団体に認められた農業者</p> <p>キ 農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）に基づき市町村が作成する基本構想における効率的かつ安定的な農業経営の指標の水準に達している者（法人の場合は役員等）</p> <p>3 認定農業者又は認定農業者に準ずる者でない者</p> <p>※ 役員等とは、認定農業者（法人）の役員及びその法人が行う耕作又は蓄養の事業に関する権限及び責任を有する使用人です。</p>
--------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

備考

- 1 枠内に記入しきれない場合は、「別紙のとおり」と表記し、参考例を基に別紙を作成して添付してください。なお、別紙には必ず応募申込書のタイトル、応募者の氏名を記入してください。
- 2 提出された応募申込書は返却しません。
- 3 応募申込書に記入された事項は、農業委員会等に関する法律施行規則（昭和26年農林省令第23号）第6条の規定により住所を除いて全て公表となります。